

(仮称) 大和田三丁目公園整備事業に対する意見募集結果

■ 意見募集期間：令和5年6月12日（月）～令和5年6月30日（金）

■ 提出者数・意見数：5人・25件

No.	意見の概要	意見に対する考え
1	【水の丘について】 特に水の丘計画案に物足りないものを感じました。新座市には柳瀬川他いくつかの河川があり、武蔵野（朝霞）台地の崖線には妙音沢（大沢、小沢）他の湧水があり、野火止台地には埼玉県指定史跡野火止用水が残されています。こうした本市の貴重な水の遺産へのリスペクトは、①「事業概要（6）提案業者に求めた水準」において、②二度にわたった協議会において、③現時点での公園設計案において、それぞれどう認識され、あるいは反映されましたでしょうか、また、「川の国埼玉はつらつプロジェクト」協議会の意向は、どう反映されましたでしょうか、お答え下さい。	・水の遺産へのリスペクトについて ①＝柳瀬川に沿った立地、そこに広がる川辺の風景に着目して、整備コンセプトを「かわのべの丘」としています。 ②＝2回目の協議会にて、「来園者が季節で樹木を楽しめる植栽にしてほしい。」という御意見をいただきました。植栽のみではなく、柳瀬川と一体で季節の彩りを楽しめる風景づくりを検討していきます。 ③＝地域の自然水と緑が創り出した「地（川辺）」の風景に、大小の丘「図（野辺）」を加え、河川空間と一体となって地区の魅力向上に資する公園づくりを目標として検討を進めています。川沿いに広がる風景や夕陽を楽しめるよう、柳瀬川を見下ろすことができる高さの3つの丘を整備するなどしています。 ・「川の国埼玉はつらつプロジェクト」において、「水辺に親しむ都市空間の創造」という意向を引き継ぎ、設計等に反映させております。また、当時のはつらつプロジェクトのメンバーの方が数名、現整備検討協議会の会員になっていただいております。
2	【全体計画について】 「事業概要（6）提案業者に求めた水準」の中に、「緑あふれる公園とすること」とあります。緑への目配りは結構と思いますが、昨今のエコロジー、SDG'sの趨勢を思う時、緑ばかりではない、人間以外の生物、生命体の尊重という姿勢が不十分ではないでしょうか。夕日の丘、眺望の丘、朝日の丘などを“乾いた”丘とせず、一部に池、沼、湿地、小流れなど水系を取り入れ、水鳥、とんぼ、水棲昆虫の“生きる権利”をフォローする新座市であってほしいと思います。	・本公園の整備にあたっては、「河川空間と一体となって、大和田二・三丁目地区の魅力向上・活性化」、「廃止となった大和田ファミリープールの代替施設として役割を担うこと」が大きな目的として設定され、検討を進めています。 ・そうした中、植栽については、武蔵野の雑木林を想起する樹種を用いるなどして、多様性に富んだ植栽を計画しています。隣接する柳瀬川の生態系を崩さないように整備を進めてまいります。
3	【水の丘について】 水の丘について、失礼ですが、皮相的でトリッキーな作為を感じてしまいます。計画対象年齢の孫がいますので、連れていけば孫たちが大喜びする様子は目に浮かびます。しかし求められているのはそういうことでしょうか。貴重な水の遺産を守ってきた新座市に、水の丘は相応しいありかたでしょうか。「水の出るバケツ」が良いのか悪いのか、のような議論はいたしません、まず出発点の「水の丘」の「丘」を見直し、親子のふれあいの機会の創出を含め、ごくナチュラルに水面、水際豊かな水の遊び場としていけないものではないでしょうか。	・公園整備にあたり、「廃止された大和田ファミリープールの代替施設となる水遊びの場づくりを実現する」ことが、公園事業の大きな課題の一つとして設定しました。 ・水の丘の検討にあたっては、3つの異なる案を協議会にご提示し、「多様な水遊びができるアスレチック遊具」を主体としたあそび場とし、夏の水遊び以外の時期でも、様々な遊びができる空間にするという方針のもと、現在の整備案となりました。

No.	意見の概要	意見に対する考え
4	【アンダーパスについて】 アンダーパスよりも横断歩道橋が望ましいと考えます。水没（警戒）により通行止め、ということが起こりませんか。	・どなたでも安全に東西のエリアを往来できるよう、スロープのあるアンダーパスを採用いたしました。 ・アンダーパス近く（東側）に、雨水を排水するためのポンプを設置して、水没することを防ぐようにしています。
5	【横断歩道について】 駐車場と公園センターエリアを結ぶ横断歩道（通常信号その他付き）が、四つ辻付近に、少なくとも一本必要と思います。	・横断歩道や信号の設置については、警察の管轄となります。横断歩道の設置については、警察に要望していますが、公園として整備が完了し、実際の利用が開始されなければ必要性が判断できないため、横断歩道の整備を見合わせているところです。供用開始後、県警による状況確認を行う旨、報告を受けているところですが、引き続き、要望は続けてまいります。
6	【障がい者用駐車場について】 西エリアの障がい者用駐車場と公園センター内にある障がい者用トイレの距離が離れています。できましたら、障がい者用駐車場を公園センター近くに設置をお願いします。	・公園センター横の管理用駐車場を、障がい者の方も使用できるよう検討いたします。
7	【障がい者用駐車場について】 眺望の丘エリアの障がい者駐車場と既設トイレ（障がい者用トイレの有無不明）の距離が離れています。既設トイレの近くに障がい者用駐車場の設置をお願いします。既設トイレに障がい者用トイレがない場合は、新たに設置をお願いします。	・既設トイレ近くにも障がい者用駐車場区画を設けるようにいたします。 ・既設トイレには、バリアフリートイレがあります。
8	【障がい者用トイレについて】 障がい者トイレの設備として、大人のオムツ交換ができるサイズのベッド（収納可能タイプ）の設置をお願いします。	・公園センター内に救護用折り畳みベッドを設置するため（目隠し用カーテンも設置）、こちらをご利用いただけるよう検討いたします。
9	【障がい者用駐車場について】 高速道路のサービスエリアでは障がい者用駐車場には必ず屋根があります。障がい者とその家族も楽しむことができる公園を望みます。	・障がい者駐車場の屋根については、雨の日の公園への来園者数を見たとえで、今後の検討課題といたします。 ・園路のスロープの工夫やインクルーシブ遊具の設置等、全ての来園者が楽しめる公園整備を進めてまいります。

10	【木を最小限とし、代わりに簡易東屋を多数建造（パーゴラと見守りデッキは無し）】 ① 寄贈されたロウバイは河川歩道沿いに列植し、目線を上げれば園内のどこからでも見え、季節感を感じられる特等席に配置することで寄贈者の面目を保つ（県土整備事務所と調整） ② 春や秋の季節感を得たければ河川歩道沿いロウバイの間にサクラ、モミジ等を最小限列植 ③ 整備地は、西に清瀬水再生センターの植栽、北は寺の境内林の借景により十分に緑は豊か ④ 整備地内の緑は芝生などのフミに強いカバーアップ植物のみとし、手間とコストを最小化 ⑤ 木はその一生涯に於いて連年管理コスト積算額が膨大で安全衛生治安に所管課が疲弊する。 ⑥ 樹木が心身に及ぼす学術的効用を高らかに謳う向きもあろうが市民も所管課も求めている。 ⑦ 鉄道忘れ物1位が傘の日本人が公園に求めるのは日よけと小雨よけであり簡易東屋である。 ⑧ 高額で豪華な者は不要。安くて長持ち鉄管溶接骨格にガルバリウム鋼板切妻型屋根で十分 ⑨ 各屋根板は強風で故障しないよう逃風構造とし、下からの風で跳ね上がり柳に風と受け流す。 ⑩ 東屋下の舗装は不要。全面カバーアップ植物。幼児も座れる低いサポートベンチ（ヒップバー）用コンクリート杭を埋め、職員が管理する錠前でベンチを抜き差し出来る構造にする。 ⑪ 多数建造する簡易東屋の配分は水の丘の東側に最も多く、西側、各丘平坦部、STEC 前の順で減らしていく。簡易東屋の骨格サイズは 2.5m～2.7mの立方体	① 御意見を踏まえて移植先を検討させていただきます。 ② 公園全体の植栽方針をもとに検討させていただきます。柳瀬川沿いにはサクラを植栽する予定です。 ③及び④ 借景となる既存の緑を活かし、公園内の景観を作り出す植栽を検討してまいります。 ⑤及び⑥ 樹木が成長した段階の管理面も踏まえて、植栽する樹木の種類、密度などを検討していきます。 ⑦ 将来的に木陰をつくりだし、小雨よけの機能をはたすような樹形の樹木（ケヤキなど）を植栽する予定です。 ⑧及び⑨ 維持管理面、構造面を考慮して公園センターの使用、構造を検討していきます。 ⑩ 管理事務所やトイレを車いすやベビーカーで利用される方が想定されることから、舗装を行うこととします。また、日陰で座ることのできるベンチを設置する予定です。 ⑪ 水の丘周囲には日陰機能をもった見守りベンチ、木陰を作り出す高木を植栽する予定です。東屋（パーゴラ）は夕日の丘と眺望の丘に一つずつ設置し、公園の景観を考慮して、出来る限り木陰で日よけ対策を行うことを考えています。
----	--	--

No.	意 見 の 概 要	意見に対する考え
11	【シンプルで全年齢層供用のドライ遊具にミスト装置を。】 ① 概して複雑な遊具は三秒で飽きるものである。対象年齢層を特定するのもコスパから無い。 ② 年に数か月と短期間のウェット主体遊具が副次的にドライ遊具にもなるという発想を逆転、園内全部ドライ主体の遊具とし副次的にウェットにも対応（錆難い滑り難い）すれば良い。 ③ 具体的なシンプル遊具は挙げないが幼児期、青年期、壮年期を通じて体力に応じ創意工夫でき、世代間で分断せず一緒に利用するのが望ましい。メンテや故障の心配、注意喚起も容易 ④ 全年齢層の市民が真夏の公園に求めるのは「涼」である。幼児だけビショ濡れで、保護者は灼熱地獄に耐えてただ見守るという、分断的で利用者属性を限定した偏見に合理性は乏しい ⑤ 水の丘の遊具や東屋をメインに園内要所にミスト装置を配分し、涼を求めて来園した市民全員の期待に応えるよう、職員の裁量で各ミストのON・OFFを操作する。 ⑥ ミスト装置の設置には前述の簡易東屋の骨格を利用する。	① 年齢層、体力に応じた遊具を設置することで、幅広い年齢の子供が安全に遊べる環境を作り出すことを考えています。 ② 本公園の整備にあたっては、大和田ファミリープールの代替施設となりうる水の遊び場づくりを実現することを公園事業の課題として設定し、検討を進めています。 ③ 遊具検討にあたり、参考とさせていただきます。また、東エリアのプレイロットにはインクルーシブ遊具という、誰もが楽しめる遊具を設置する予定です。 ④ 水の丘の周囲に保護者用の日よけ機能をもった見守りベンチ、木陰を作り出す高木を植栽する予定です。 ⑤と⑥ ミスト装置の設置について、現段階においては、整備費用、維持管理面の観点から見合わせることにしました。

No.	意見の概要	意見に対する考え
12	【要素を減らし汎用性と転用性で柔軟な作りに。】 ① 計画案においても汎用性、転用性は謳われているが、更に突き詰めて特定用途を廃し、1つの設備が2つ3つ4つの機能を兼ねるのが望ましい。 ② シンプルで車止めを廃したアスファルト舗装駐車場は北東に拡大し、キャスター付フェンスで柔軟にゾーン分けする事で、キッチンカー、ステージカー等の広場に転用する方が良い。 ③ 前述の東屋の上には小型スピーカーや園内管理カメラ、小型LED照明等を付加する事でセンター事務所からの操作による注意喚起や防犯管理を可能とする。 ④ 簡易東屋は、お祭やフリーマーケットの際、設営撤去の不要な店舗となる上、目隠し幕を付ければパフォーマンスイベントの際の演者控室となる。	① 空間を有効に活用する上での参考とさせていただきます。 ② 駐車場へのアクセス、公園内の動線、広場の使い勝手などを勘案して、現在の駐車場、広場等の配置としました。 ③ スピーカー、管理カメラは管理事務所で対応することとしています。照明灯は、夜間に管理事務所内に係員がいないことも踏まえ、明暗センサーとタイマーを併用した点滅制御としています。 ④ 公園供用開始後、実際の運用に合わせて対応を図るものとしします。
13	【トイレの数が不足ではないか？】 ① 少年サッカー場の最大集客人数をいくらと見ているのか？既設トイレがあっても満席の時に足りないはず。 ② ○○の丘でイベントが行われた時の集客人数をどの位と見ているのか？ ③ 駐車場 50 台に対して+自転車等の人数を少なく見積もっていいないか？	① 公園の規模（面積）を踏まえ、必要数を計算して穴数を決定しました。 ② 公園の面積当たりの収容人数算出式にもとづいて、来園者、トイレ利用者数を想定し、トイレの穴数を決定しました。イベント開催時等、状況によってトイレの順番待ちが発生することが想定されますが、年間を通して過剰にならない範囲での穴数としました。 ③ トイレと同様に公園の規模（面積）を踏まえて来園者数を想定し、台数を決定しました。
14	【事業計画について】 事業計画がよく理解できない。 どこで事業を成立させていくのか？永続的に市民が運営資金の負担をしていくのか？収益が見えない。	・現段階においては、市内の他の公園と同様に、どなたでも無料で利用できる公園として整備をすすめております。 ・供用開始後、年間の来園者数等の実績を得た後に、ゆくゆくは近隣の公共施設を含めた大規模な Park-PFI 等、民間の創意工夫を取り入れた管理も視野に入れ、事業を進めてまいります。

No.	意 見 の 概 要	意見に対する考え
15	【生態系について】 樹木が沢山植えられるようだが、生態系が無視されていないか？広葉樹と落葉樹（里山）の関係や、そこに生きる虫や動物。例えばカブトムシも見られる公園にするためには如何にするか等	・ 樹木を植える際に生態系に配慮することは、地域の生態系に適した樹木の選定や植える場所、成長後のメンテナンス等が重要と考えられます。上記を踏まえ、公園内のエリアの特性に応じた植栽計画を立ててまいります。
16	【3つの丘について】 3つの丘の高さ3mより周辺の樹木の高さ6mとなると眺望が死んでしまう。何のための丘か？残土処理のために作ったに過ぎない。	・ 丘と樹木が一体となった風景、丘の上から眺望を考慮して、高木の配置を検討しています。 ・ 3つの丘は、公園の景観や眺望を楽しみ、公園を象徴するものとして整備する予定です。樹木の成長後も定期的にメンテナンスを行い、柳瀬川そして川沿いに広がる風景や夕陽を継続的に楽しめるよう、3つの丘を整備する計画としています。
17	【着替えの機能について】 着替えの機能が必要。 幼児の水遊び後は着衣がビショビショになることが多く、濡れたまま車に乗るには無理がある。	・ 男女トイレ及びバリアフリートイレ内に着替え用のスペースとして、折り畳み式の踏み台を設置する予定です。
18	【アンダーパスについて】 アンダーパスになっているが、柳瀬川が溢れた時は危険防止策がとられていることと思うが、コスト高では？また、駐車場から水の丘まで行くには距離があるのではないか。	・ 安全にどなたでも東西エリアを行き来できる方法として、横断歩道ではなくスロープによるアンダーパスを設置することとしました。
19	【手洗い場について】 手洗い場を3つの丘周辺にも数か所設ける。（コロナ対策・熱中症対策）	・ 費用対効果を考慮して、利用者が多く集まる場所に手洗い場を設置する計画としています。
20	【オムツ交換場所について】 オムツ替えをする場所が少ない。夏場の利用を考えても、公園センター内にもっと増設するべき。授乳室も、1人しか利用できないのは不便すぎる。	・ 授乳室の小上がりベンチ2つ及びバリアフリートイレにオムツ交換台を設置する予定です。個室の授乳室利用が重なった際には、管理室の折りたたみベッド（目隠しカーテンあり）の活用等を検討いたします。

No.	意見の概要	意見に対する考え
21	【キッチンカーについて】 キッチンカー利用を想定するのであれば、ベンチだけでなく、テーブルもあったほうが利用しやすいのでは。	・状況に応じて仮設のベンチやテーブルを設置することを検討します。
22	【朝日の丘について】 朝日の丘はベンチのみなので、なにか遊具などを置いてもよいのでは。パーゴラあってもよいと思う。足湯があったら皆行くと思う。	・丘の上ということで安全面を考慮して遊具の設置は見合わせています。西エリアの夕陽の丘には、地形を利用して滑り台を設置する予定です。 ・足湯については、整備費、維持管理、運営面を踏まえ、整備することは考えておりません。
23	【キッチンカーについて】 公園センター近くにキッチンカーを配車できるスペースを設けたほうがいい。せっかく公園センターに日除けスペースがあるのにもったいない。	・どれくらいの利用ニーズがあるか、供用開始後の状況を踏まえて検討させていただきます。
24	【子ども用トイレについて】 子ども用トイレの設置を要望します。	・供用開始後の利用状況をみて、必要であれば着脱可能な子ども用便座を用意する等、検討いたします。
25	【駐輪場について】 駐輪場については、3人乗り自転車が数多く停められることが予想されるため、子どもの自転車乗り降りを考慮し、できる限り広くスペースをとってほしい。	・3人乗り自転車についても想定し、駐輪場の設置については検討を進めてまいります。